

エチレンセンター10社の収益状況について (平成27会計年度)

平成28年7月19日
製造産業局 素材産業課

平成27年度のエチレンセンター10社の石油化学部門の売上高は、原油やナフサ価格の下落に伴い、石油化学製品の販売価格が低下したことにより、3兆9,462億円と前年同期に比べ19.7%の減少となった。

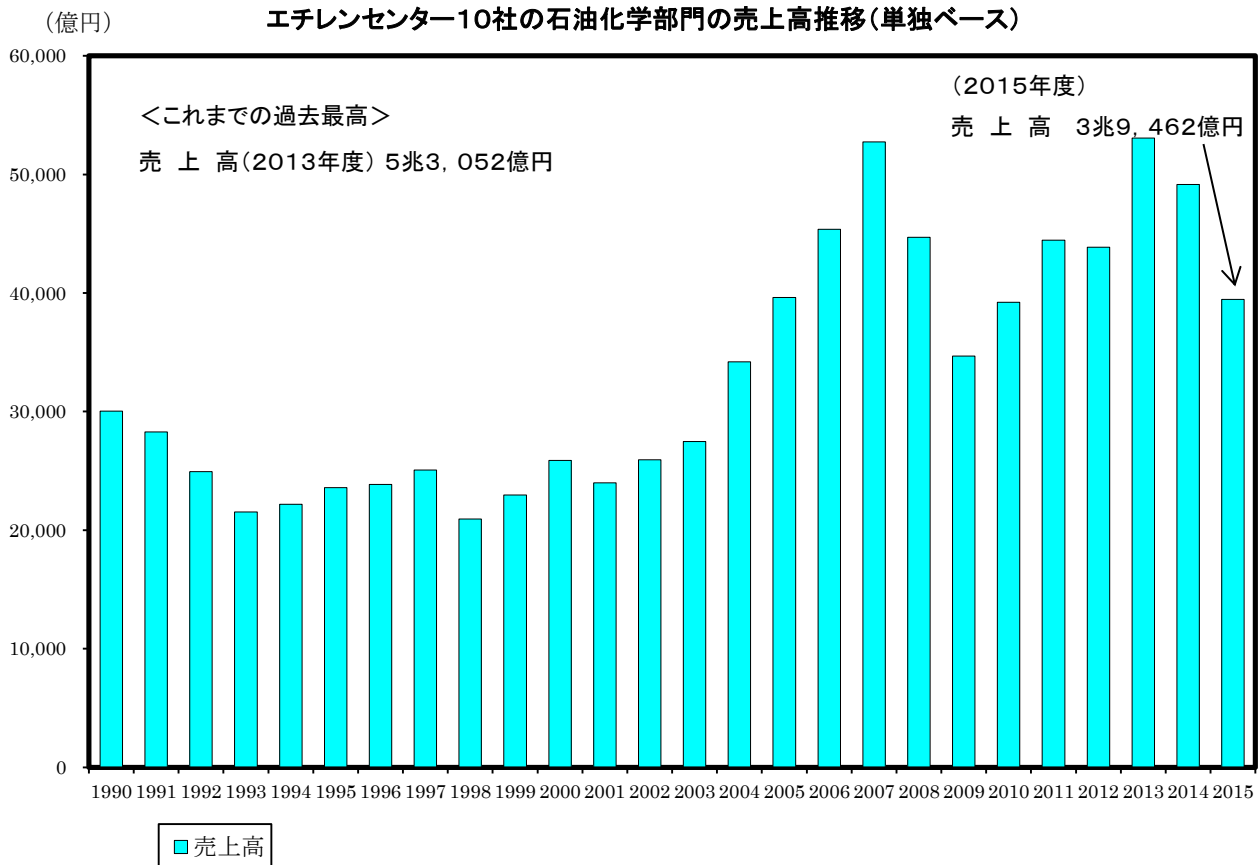
また、経常利益については、市況が堅調に推移したことや交易条件の改善により、1,868億円と、前年同期に比べ約8.8倍の大幅な増加となった。

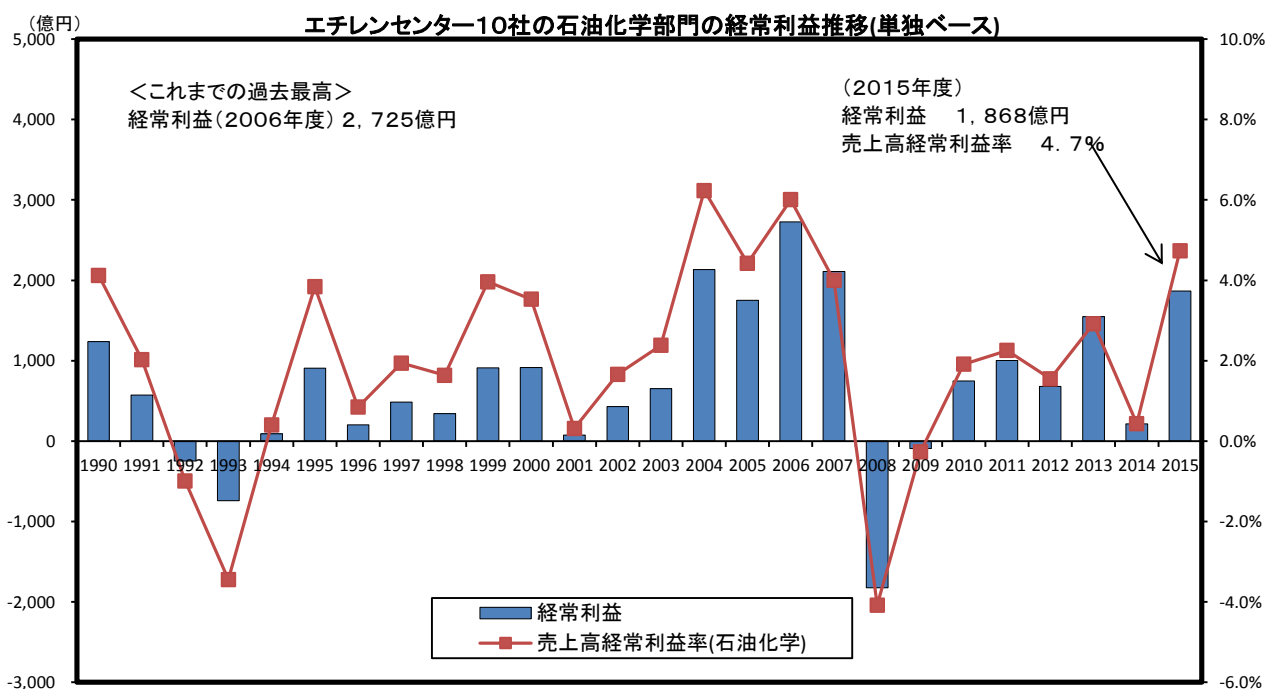
この結果、売上高経常利益率は4.7%と前年同期に比べ4.3ポイントの増加となった。

(売上高) 3兆9,462億円 (対前年同期比 19.7%減)

(経常利益) 1,868億円 (対前年同期比 777.0%増)

(売上高経常利益率) 4.7% (対前年同期比 4.3ポイント増)





エチレンセンター10社の収益推移(単独ベース)

(単位:億円)

年度		平成23	24	25	26	27
石油化学部門	売上高 [億円]	44,453	43,854	53,052	49,143	39,462
	(前年同期比:%)	(+13.3)	(-1.3)	(+21.0)	(-7.4)	(-19.7)
	営業利益 [億円]	705	460	1,443	221	2,022
	(前年同期比:%)	(+2.3)	(-34.8)	(+214.0)	(-84.7)	(+817.1)
	経常利益 [億円]	1,002	679	1,548	213	1,868
(前年同期比:%)	(+33.8)	(-32.2)	(+127.8)	(-86.2)	(+777.0)	
売上高経常利益率(%)	2.3	1.5	2.9	0.4	4.7	
全社	売上高 [億円]	60,286	58,996	68,985	66,125	54,680
	(前年同期比:%)	(+8.9)	(-2.1)	(+16.9)	(-4.1)	(-17.3)
	営業利益 [億円]	1,212	820	1,759	1,105	3,067
	(前年同期比:%)	(+3.5)	(-32.3)	(+114.5)	(-37.2)	(+177.7)
	経常利益 [億円]	1,529	1,555	2,775	2,144	3,472
(前年同期比:%)	(+13.3)	(+1.7)	(+78.5)	(-22.7)	(+62.0)	
売上高経常利益率(%)	2.5	2.6	4.0	3.2	6.3	

(平成27年度集計対象)

旭化成(株)、出光興産(株)〈石油化学部門〉、大阪石油化学(株)、昭和電工(株)、JX エネルギー(株)〈石油化学部門〉、住友化学(株)、東ソー(株)、東燃化学(同)、丸善石油化学(株)、三井化学(株)、三菱化学(株) ※ 〈〉は各企業の集計対象とした部門

【参考】

エチレンセンター10社の石油化学部門の収益推移(連結ベース)

(単位:億円)

年度		平成23	24	25	26	27
石油化学部門	売上高 [億円]	66,001	64,313	76,788	78,390	68,604
	(前年同期比:%)	(+10.4)	(-2.6)	(+19.4)	(+2.1)	(-12.5)
	営業利益 [億円]	1,994	839	2,112	1,716	4,266
	(前年同期比:%)	(+12.8)	(-57.9)	(+151.7)	(-18.8)	(+148.6)
	売上高営業利益率(%)	3.0	1.3	2.8	2.2	6.2

注)連結対象会社の変更等があるので、前年度と単純な比較はできない。

(平成27年度集計対象)

旭化成(株) <ケミカル・繊維部門>、出光興産(株) <石油化学製品部門>、昭和電工(株) <石油化学部門>、JXエネルギー(株) <石油化学部門>、住友化学(株) <石油化学部門、エネルギー・機能材料部門>、東ソー(株) <石油化学部門>、東燃ゼネラル石油(株) <石油化学事業部門>、丸善石油化学(株)、三井化学(株) <石化部門、基礎化学品部門、機能樹脂部門>、(株)三菱ケミカルホールディングス <ケミカルズ部門、ポリマーズ部門>

※<>は各企業の集計対象とした部門